

# 小学校 第6学年「家庭科」シラバス

## 家庭科の内容構成

次の内容です

- 家庭生活と家族
- 日常の食事と調理の基礎
- 快適な衣服と住まい
- 身近な消費生活と環境

### 6年生の目標

- 衣食住や家族の生活などに関する実践的・体験的な活動を通して、自分の成長を自覚するとともに、家庭生活への関心を高め、その大切さに気付くようにする。
- 日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、身近な生活に活用できるようにする。
- 自分と家族などのかかわりを考えて実践する喜びを味わい、家庭生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる。

### ★評価の観点

家庭科では、次の4つの観点で評価します。

- ①家庭生活への関心・意欲・態度  
自分の成長と衣食住や家族の生活などについて関心をもち、その大切さに気付き、家族の一員として家庭生活をよりよくするために進んで取り組み実践しようとする。  
→行動観察・ノート・ワークシート・家庭での実践記録
- ②生活を創意工夫する能力  
衣食住や家族の生活などについて見直し、課題を見付け、その解決を目指して家庭生活をよりよくするために考えたり自分なりに工夫したりしている。  
→行動観察・ノート・作品・家庭での実践記録
- ③生活の技能  
生活の自立の基礎として日常生活に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な技能を身に付けている。  
→行動観察・作品
- ④家庭生活についての知識・理解  
家庭生活を支えているものや大切さを理解し、日常生活に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な知識を身につけている。  
→テスト・ワークシート・発表

学習する題材の名称	主な学習内容
1 くふうしよう 朝の生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1日の生活時間を調べ、見直します。</li> <li>・家族と共に過ごす時間や朝の生活時間を工夫します。</li> <li>・栄養のバランスがとれた朝食のおかずを考えます。</li> <li>・朝食のおかずづくりの計画を立て、必要な材料を準備します。</li> <li>・(フライパンを安全に使う) 朝食のおかずを調理します。</li> </ul>
2 きれいにしよう クリーン大作戦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんなところにどんなよごれがあるか調べます。</li> <li>・身近な場所のよごれに合ったそうじのしかたを考え、発表します。</li> <li>・ごみを減らし、資源を大切にすくらし方を考えます。</li> </ul>
3 暑い季節を快適に	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暑い季節を快適に過ごすための住まいや着方について話し合います。</li> <li>・すずしい住まい方を調べ、自分の家でできることを話し合います。</li> <li>・暑い季節を気持ちよく、健康に過ごすための衣服の着方を考えます。</li> <li>・衣服のよごれの種類と清潔な整え方を調べます。</li> <li>・洗たくのしかたを調べて、洗たくをします。</li> </ul>
4 生活を 楽しくしよう ソーイング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・布を使って生活が楽しくなる物を考え、計画を立てます。</li> <li>・製作計画を確認し、工夫して製作します。</li> <li>・製作をふり返り、工夫したことや使ってみての感想などを話し合います。</li> </ul>
5 くふうしよう 楽しい食事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(ごはんのみそ汁を中心にした) 1食分の献立を考えます。</li> <li>・立てた献立の栄養のバランスを確かめます。</li> <li>・身近な食品を組み合わせ、計画を立て、おかずをつくります。</li> <li>・家族と楽しく食事ができるよう考えます。</li> </ul>
6 考えよう これからの生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(教科書の図を見ながら) 身近な生活の環境について、気がついたことを話し合います。</li> <li>・身近な人びとへ感謝の気持ちを伝える方法を考え、実践します。</li> <li>・人びとや環境とのかかわりで、自分にできることを考え、よりよい生活をしよう、実践します。</li> </ul>
7 成長した わたしたち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年間の学習をふり返り、生活の中でできるようになったこと、工夫していること、また、これらを生かして今後どうしていきたいかなどを発表します。</li> </ul>